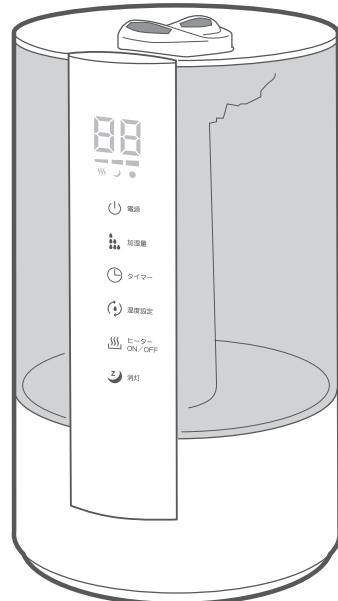




保証書付

# ハイブリッド加湿器 DH-HB453 取扱説明書

このたびは、加湿器をお買上げいただき、  
まことにありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読み  
のうえ、正しくご使用ください。  
お読みになった後は、大切に保管していただき、  
取扱いのわからないときや、不具合  
が生じたときにお役立てください。



## 家庭用

○業務用として使用しないでください。  
○他の用途での使用はしないでください。  
思わぬ事故になります。

### 愛情点検



ご使用の際、  
このような症状は  
ありませんか？

### 長年ご使用の加湿器の点検を！！

- ・電源を入れても動かないときがある。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・運転中に異常な音や振動がする。
- ・こげ臭いにおいがする。
- ・電源プラグ、電源コード、本体などが異常に熱い。
- ・その他の異常、故障がある。

### ご使用中止

故障や事故の防止のため、運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。なお、点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

●この製品は海外ではご使用になれません。 FOR USE IN JAPAN ONLY

## 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、危害や損害を未然に防止するための重要な内容ですので、必ずお守りください。

 **警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

 **注意** 人が障害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される可能性を示します。

絵表示の例

 本記号は「強制（必ずおこなってください）」を示します。

 本記号は「禁止（しないでください）」を示します。

### **警告**

-  異常時（焦げ臭いにおい）は電源プラグをコンセントから抜く。火災、感電の原因となります。使用を中止して当社お客様相談室までご相談ください。
-  絶対に分解、修理、改造をおこなわないでください。発火したり異常動作によってケガの原因となります。
-  水につけたり、水をかけたりしないでください。ショートによる感電や故障の原因となります。
-  浴室やサウナなど湿気の多い場所での使用、保管はおこなわないでください。感電や故障の原因となります。
-  電源コードにキズをつけたり、加工や改造をしたり、熱器具に近づけたりしないでください。また商品の強度を超えた負荷や荷重をかけないでください。火災や感電、破損の原因となります。
-  電源プラグは根元まで差し込み破損したプラグ、コンセントは使用しないでください。火災や感電の原因となります。
-  使用時以外は電源プラグを抜いておいてください。絶縁や劣化による感電、漏電火災、けがの原因となります。
-  外出する際は電源を切り電源プラグを抜いてください。絶縁劣化による感電、漏電火災、けがの原因となります。
-  本体の汚れや電源プラグのホコリなどは定期的に掃除して取り除いてください。湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。
-  コンセントや配線器具の定格を超えた使用や交流 100V 以外では使用しないでください。また延長コードの使用もしないでください。たとえ配線などで定格を超えると発熱し、発火や感電の原因となります。
-  濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。感電やケガの原因となります。
-  吸気口や吹き出し口、本体の隙間に指や異物をいれない。またピンや針金などの金属物等の異物を入れないでください。内部の電子部品に接触し感電やケガ、故障の原因となります。
-  子供など取扱いに不慣れな方だけの使用は避けてください。また乳幼児の手の届く場所で使用しないでください。感電やケガなどの原因となります。
-  本体内部のお手入れに塩素系、酸性系の洗浄剤は使用しないでください。本体内部に洗浄剤が残り、有毒ガスが発生したり故障の原因となります。
-  吹き出し口をふさがないでください。水漏れや変形、故障の原因となります。
-  傷んだ電源プラグや電源コードは絶対に分解、改造、修理はしないでください。火災や感電の原因となります。また電源プラグや電源コードが破損したときはすみやかに使用を中止し、お客様相談室までお問い合わせください。
-  吹き出し口から噴射される霧は吸入しないでください。健康を害する場合があります。
-  お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いておいてください。感電やケガ、やけどの原因となります。
-  上部タンクの水は必ず排水方向から排水する。内部に水がはいりこみ火災や感電、故障の原因となります。

## 安全上のご注意



注意

- 🚫 以下の場所では絶対に使用しないでください。水漏れ、誤動作、物的損害、ケガや故障の原因となります。
  - 直射日光が当たる窓際や冷暖房器具、家電製品などの上や近く
  - エアコンやファンヒーターなどの風が直接当たる場所
  - 熱に弱い家具や床などの上
  - カーペットや布団などの柔らかい生地でできた設置に不安定な場所
  - 湿気の高い場所、また湿気がこもりやすい場所
  - 雨や水がかかるおそれのある場所
  - 人がよく通る動線上での設置
  - 磁気の多い場所
  - 家具やカーテン、ふすまや障子などの近く
- ❗ 使用中、電源プラグや電源コードが異常に熱くなったときは、使用を中止する。ショートによる発火のおそれがあります。
- ❗ 電源プラグを抜くときは、コードを持たず、プラグを持って抜く。ショートによる感電や発火の原因となります。
- 🚫 ベンジンやシンナー、アルコールで拭いたり、油や薬品を使用する場所で使用しないでください。
- 🚫 吹き出し口からは絶対に給水しないでください。水漏れや感電、故障の原因となります。
- ❗ 水道水以外の水を使用しないでください。水の成分によっては内部に悪影響を与え、故障の原因となります。
- ❗ 水やタンク、水槽にアロマオイルや芳香剤を入れない。水やタンク、水槽に水以外のものを入れると、水漏れややけど、変形や故障の原因となります。
- ❗ 水タンク及び水槽の水は毎日新しい水道水に入れ替えてください。カビや雑菌が繁殖し、健康を害する場合があります。常に清潔な状態を保ってご使用ください。
- 🚫 ラジオなどの電波を発するものの近くで使用しないでください。ラジオ、テレビなどに映像の乱れや雑音が入る原因となります。
- 🚫 電気製品や精密機器、磁気製品などの近くでは使用しないでください。湿気や白粉の影響による故障の原因となります。
- 🚫 高温多湿、ホコリの多い場所、湿気の多い場所で使用しないでください。感電や故障、変質、破損の原因となります。
- 🚫 周囲に障害物があったり、不安定な場所では使用しないでください。転倒してケガや水がこぼれ床を濡らしたり、故障の原因となります。
- ❗ 本体を移動させるときは、運転を停止してから移動してください。水がこぼれて家財などを濡らしたり、故障の原因となります。
- ❗ 強い衝撃を与えないでください。感電、故障、破損によるケガの原因となります。
- 🚫 本体に強い負荷や衝撃をあたえないでください。転倒してケガの原因となり、また本体の破損の原因となります。
- 🚫 水タンクをはずして使用しないでください。水が飛び散って床を濡らしたり、内部に水が入り故障の原因となります。
- 🚫 加湿以外の目的で使用しないでください。床を濡らしたり、感電、ケガや故障の原因となります。
- ❗ 長時間(24時間以上)使用しないときは水タンクと本体に残っている水をすべて捨ててください。カビや雑菌が繁殖し、健康を害する場合があります。

### お願い

- 製品及び梱包材を破棄する際は、お住まいの自治体の取り決めに従って処分してください。
- 天災などの不可抗力や不当な修理や改造による故障、不具合、破損に対する保証は致しかねます。

## 使用上のご注意

### ■設置場所のご注意

設置場所によっては、周辺の床や家具などが濡れたりする場合があります。  
以下の設置場所に関するご注意をよくお読みになり、正しくご使用ください。

#### ●精密機器や電気製品のあるお部屋で使用するとき

パソコンや携帯電話などの精密機器やテレビ／音響機器などの電気製品の上や近くには絶対に置かないでください。  
水がこぼれた場合、機器内に水が入り、火災や感電、故障の原因となります。

精密機器や電気製品から離れた場所に設置し、霧が直接かかるないようにしてください。  
直接霧がかかりますと、濡れたり、霧が内部に付着して故障の原因となります。

吹き出しノズルの向きや、加湿器を調節して、精密機器や電気製品に霧が直接かかるないように十分注意してください。

#### ●家具やカーテンなどが近くにあるとき

家具やカーテンなどからできるだけ離れた場所に設置し、霧が直接かかるないようにしてください。

家具やカーテンに直接霧がかかると、変質や変色したり、カビや異臭の原因となります。

家具やカーテンの近くに設置するときは、スチーム吹き出し口の向きや、加湿器を調節して、霧が直接かかるないように十分注意してください。

#### ●その他の設置に注意していただきたい場所

##### ○床や畳の上に直接設置する場合。

加湿量が多すぎると、霧で床や畳を濡らす場合があります。

加湿器を調節して、周辺が濡れないよう十分注意してください。

○ふすまや障子、書物、ポスターなどの紙類や壁などの近く。

霧が直接かかると、変色やシミの原因となることがあります。

### ■ご使用にあたってのお願い

製品及び梱包材を破棄する場合は、お住まいの自治体に取り決めに従ってください。

天災などの不可抗力や、不当な修理や改造による故障、破損に対する保証は致しかねます。

●運転を停止した際にタンクに水が残っている状態で放置すると、温度変化で水槽の水が増える場合があります。水槽の水量増加は、本体からの水漏れやミストの発生の妨げの原因となる恐れがあります。運転後はタンクの水を空にして常に正常に動作する状態にしてください。

#### ●凍結に注意する。

凍結のおそれがあるときは、水タンクと本体の水をすべて捨ててください。

#### ●水を入れた水タンクは床などに直接置かないでください。

水が漏れて周囲を濡らす原因となります。

#### ●加湿のしすぎに注意してください。

室内に霧が立ちこめたり、室内を濡らしたり、誤動作や故障の原因となります。

#### ●ガスコンロの近くでは使用しない。

まれに炎が赤くなる場合がありますが、故障ではありません。

水道水の成分が炎に反応（炎色反応）するためです。

#### ●ラジオ、テレビ、無線機器などから1m以上離してご使用ください。また、同じコンセントにこの製品の電源プラグを差し込まないでください。

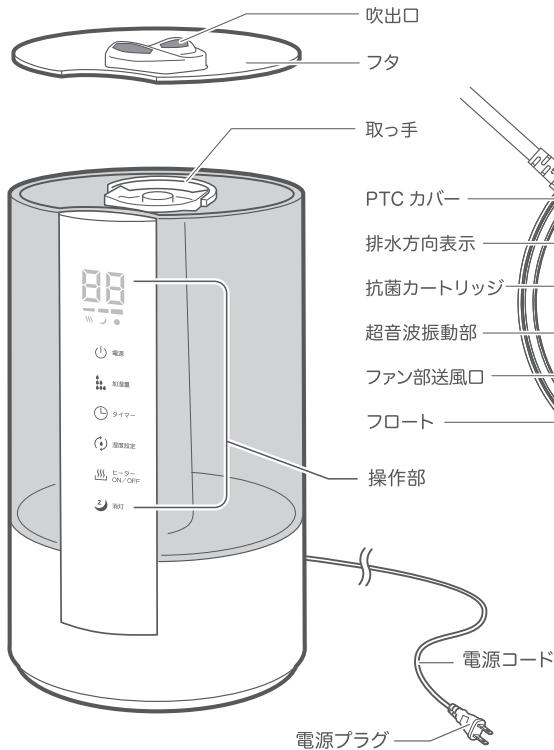
映像も乱れや雑音が入る原因となります。

#### ●本体を逆さまにしない。故障や破損の原因となります。

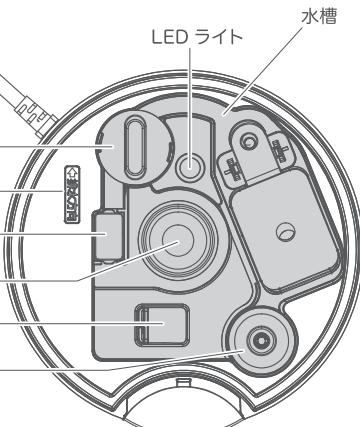
●窓や冷えた壁面からは離して設置する。窓や冷えた壁面に霧がかかりますと、水滴となって窓や壁面、床につくことがあります。カビなどが発生するおそれがあります。風通しのよい場所で使用してください。

## 各部の名称

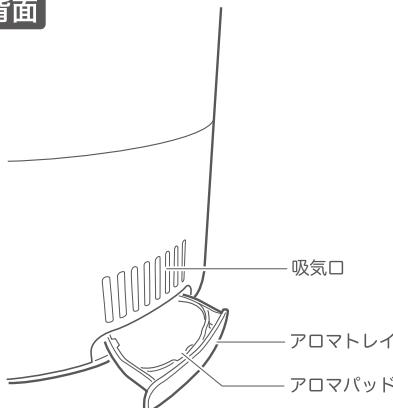
本体



本体内部



本体背面



### ▲ 注意

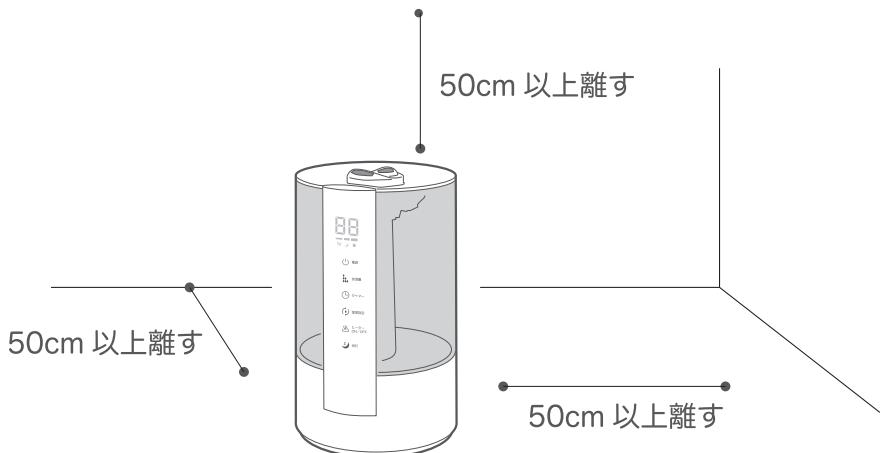
- 抗菌カートリッジは必ず本体に取り付けてご使用ください。
- 残った水は、必ず排水方向表示の指示方向にしたがって捨ててください。
- 超音波振動部は使用後毎回必ずお手入れをおこなってください。

### 付属品



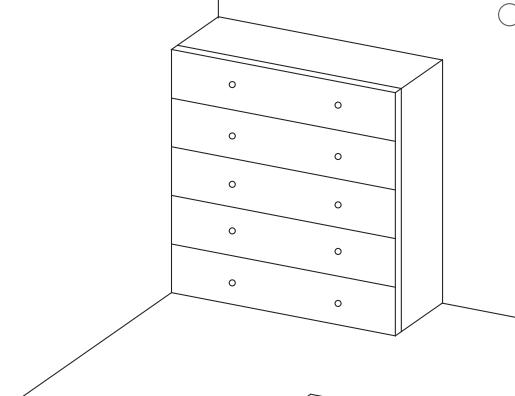
## 設置場所について

- 水平な場所で壁、家具、家電製品などから 50cm 以上離して設置してください。

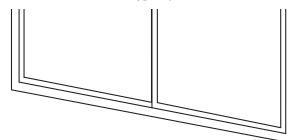


※下記にあげる場所には絶対に設置しないでください。

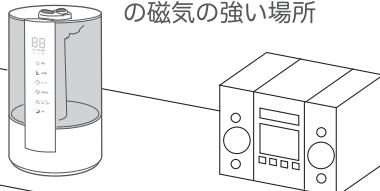
- 落下の恐れのある水平でない場所
- 凹凸のある場所



- 冷えた壁面や壁など結露の発生する  
おそれのある場所



- 電化製品の近くや電磁調理器などの  
磁気の強い場所



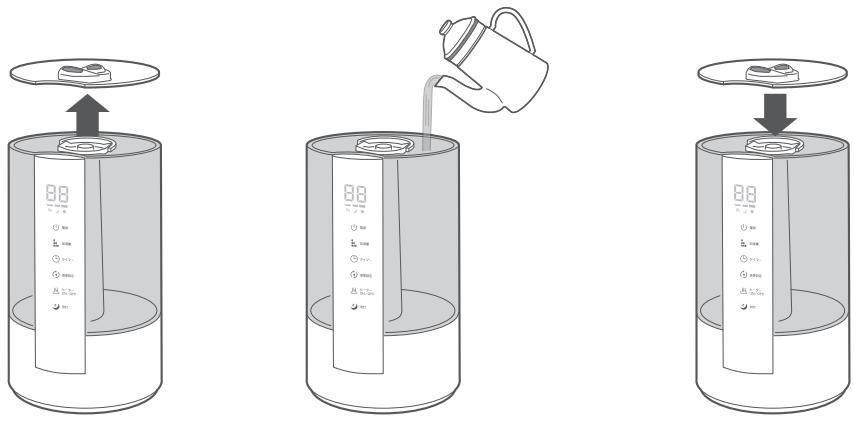
- 絨毯や電気カーペット、畳、ふとんの上など  
の水分や湿気を吸収しやすい場所や生地、布  
などが原因で吸気口をふさぎやすい場所

## タンクに水を入れる

※はじめてご使用になる時は必ず「安全上のご注意」をよくお読みになってからご使用ください。  
※水を入れる際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

### タンクに水を入れる (タンクを本体にセットしたまま給水する場合)

- ①フタをはずします。 ②やかんなどで水道水をタンクに入れます。 ③フタを閉めます。

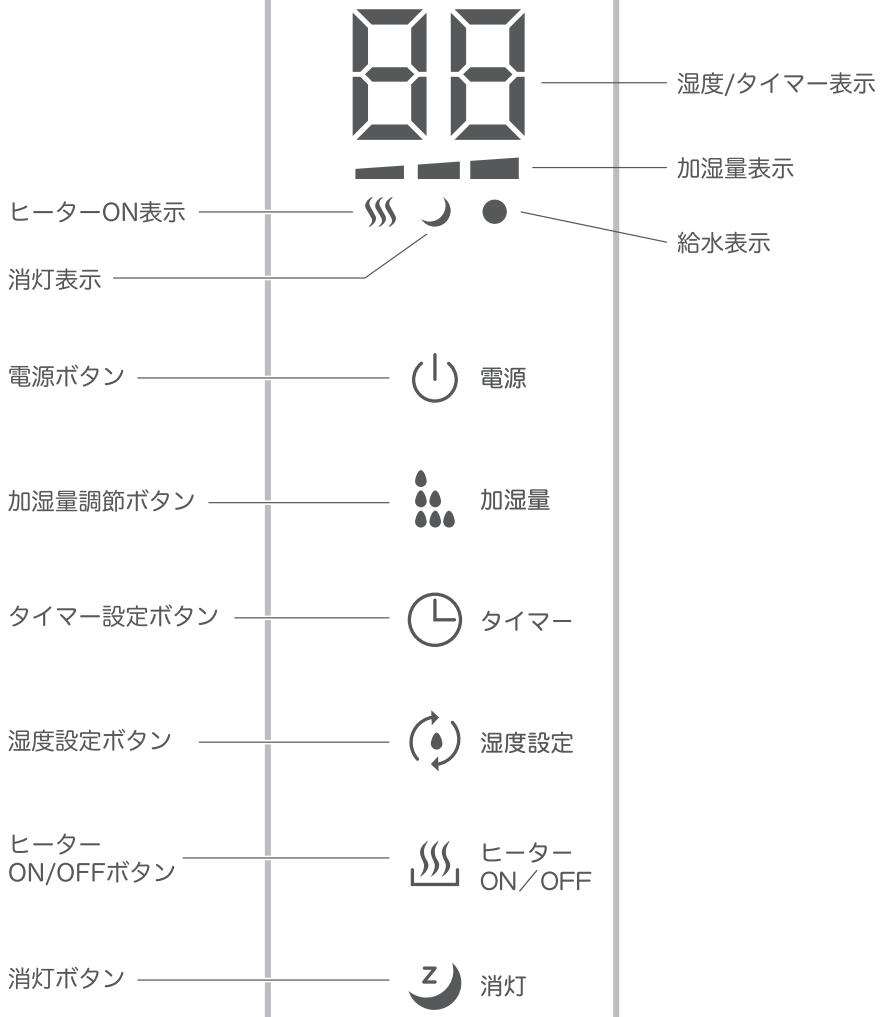


### タンクに水を入れる (タンクをとりはずして給水する場合)

- ①フタをはずします。 ②取っ手を起こし  
タンクを取り  
はずします。 ③蛇口などで  
水道水を入れます。 ④タンクとフタを  
セットします。



## 表示と操作パネル



## 正しい使い方

### 電源を入れる

電源プラグを家庭用電源コンセント(AC100V)につなぎます。

※水槽が空の状態でタンクから水を供給する際に、水槽に十分水がいきわたるまでに時間がかかる場合がございますので、しばらく待ってから電源を入れてください。



### 加湿を開始 / 停止する

ボタンを押すと弱モードで運転を開始します。  
運転を停止する場合も同様に電源ボタンを押します。

#### メモリー機能について

- 運転停止後、電源プラグを抜かずに再度電源ボタンを押すと、停止前の設定で運転をします。

※タイマー、ヒーター、睡眠モードの設定はメモリーされません。



### 加湿量の設定をする

加湿量ボタンを押して加湿量の設定ができます。  
押すごとに下図のように切り替わります。



### タイマーの設定をする

タイマーボタンを押してタイマーの設定ができます。  
設定された時間で運転を自動的に停止します。  
タイマーは1時間から9時間まで1時間ごとの設定ができます。  
設定はボタンを押すごとに切り替わります。  
設定が確定すると湿度表示に切り替わります。



## 正しい使い方

### 湿度の設定をする

湿度設定ボタンを押して湿度（目標湿度）を設定し、本機を自動運転させることができます。

例えば湿度を 50% の設定をした場合、設定湿度まで加湿をし、設定湿度に到達すると自動的に運転を停止します。

湿度調節ボタンを押すと表示窓の湿度表示が点滅し現在湿度表示になります。

- ボタンを押すごとに湿度の設定は 40% から 75% までの設定ができ、湿度設定は 5% 単位で切り替わります。75% の次は「**En**」表示となり設定解除の表示となります。
- 設定湿度でボタンから指を離すと設定湿度が 5 秒点滅し、それから現在の湿度表示に切り替わり自動運転となります。
- 湿度センサーの環境によりご家庭の湿度計との相違が生まれる場合があります。
- 空気の流れが良い場所と悪い場所とでは湿度の差が出ることがあります。



湿度設定 55%



湿度設定 70%



湿度設定解除

※電源ボタンを押すと、設置場所の湿度が表示されます。  
30%から85%まで表示され、湿度が30%未満の場合は「**Lo**」、  
86%以上の場合は「**Hi**」と表示されます。



湿度 30%未満



湿度 86%以上

### ヒーター機能を使用する

ボタンを押すと アイコンが点灯し、ヒーター機能の運転を開始します。  
機械の内部的なヒーター機能が働きます。



ヒーター  
ON/OFF

### 消灯機能を使用する

#### 1. タンク内の照明をON/OFFする。

ボタンを押すとタンク内の照明が消灯します。  
もう一度おすと点灯します。

#### 2. おやすみモード（すべての照明、表示ランプを消灯する。）

ボタンを3秒間長押しすると、 アイコンが点灯しその他のランプが消灯します。  
そのまま5秒経過すると、 アイコンも消灯します。



消灯

## タンクの水が空になった場合

タンクの水がなくなると、●アイコンが赤色に点灯し、ファンが1分間作動した後運転が停止します。

その後は下記のように対応してください。

#### ①電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

水が電源プラグやコンセント差し込み部に付着しないように気をつけてください。  
※電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

#### ②水タンクと本体の残った水を捨て、お手入れをおこなう

お手入れ方法はP12-13をご参照ください。

#### ③続けて使用する場合は給水する

必ず新しい水に入れ替えてください。そのまま使うと、カビや雑菌が繁殖し、健康を害する恐れがあります。

## アロマオイルを使用する

※本製品にアロマオイルは付属されていません。市販のものを別途お買い求めください。

①本体背面からアロマトレイを取り出します。

アロマトレイを押すと本体から少し出でますので、さらに引っ張り出してください。

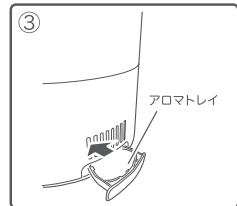
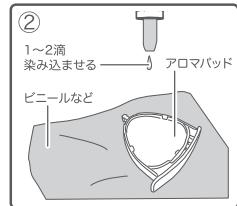
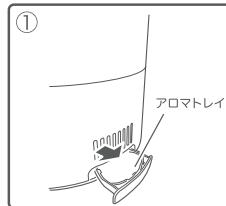
②アロマパッドにアロマオイルを1~2滴染み込ませます。

オイルがこぼれないように、ビニールなどをトレイの下に敷いてから滴下してください。

※アロマオイルを染み込ませ過ぎないようにご注意ください。

③アロマトレイを本体にセットします。

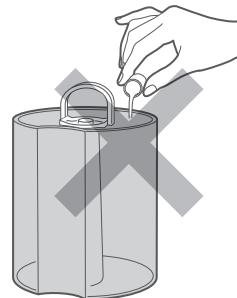
アロマオイルが本体に付かないように気をつけながらゆっくりセットしてください。  
アロマトレイを本体に軽く押し込むと固定されます。



### ▲ 注意

#### アロマオイルの注意書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

- 水タンクに直接アロマオイルを入れないでください。 本体が変形・割れにより水漏れする恐れがあります。
- 本体やアロマトレイにアロマオイルが付着した時は、すぐに洗い流すかきれいにふき取ってください。  
本体のプラスチック部に付着すると、芳香成分によっては割れ・変色・変形する恐れがあります。
- アロマトレイを引き出す際、本体の水こぼれに注意してください。
- 本体を移動する際は、アロマトレイを落とさないよう注意してください。
- 天然抽出物(100%)以外の合成香料などは使用しないでください。
- アロマ機能は使用しなくても問題はありませんので、お好みでお使いください。
- アロマトレイにアロマオイルを規定量以上入れないでください。



## お手入れの方法(1)

※必ず電源プラグをコンセントから抜いて、本体を冷ましてからお手入れを行ってください。

### 本体

- 中性洗剤を入れた水に布を浸し、固めに絞って本体の汚れを拭き取ってください。汚れを拭き取った後は、洗剤成分をしっかりと拭き取ってください。
- 本体の水洗いは絶対にしないでください。
- シンナー、ベンジン、磨き粉などは使用しないでください。変色やキズの原因となります。
- 本体背面の吸気口のほこり、汚れを取り除いてください。

### スチーム吹き出し口

- 水道水の水質が硬い場合は、スチーム吹き出し口にスケール（水中のカルシウムやマグネシウムが析出した白いもの）がたまりやすくなります。週に一回はスチーム吹き出し口を取り出し、食器用洗剤で洗って、洗剤成分が残らないよう水でよくすすいでください。

### タンク内

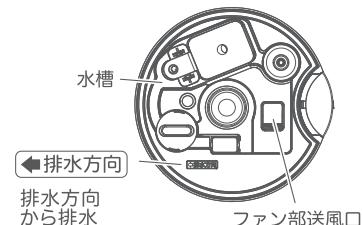
- タンク内に水を入れ、振り洗いしてください。洗浄後は乾かしてください。
- 洗剤は使用しないでください。故障の原因となります。

### アロマトレイ

- フェルトを取り出し、中性洗剤などでよく洗い、柔らかい布で拭き取ります。残り香がきになる場合は何回か洗浄を繰り返してください。

### 水槽

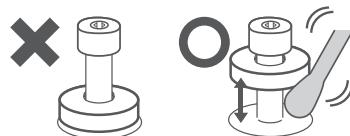
- 使用終了ごとに水槽内の水を捨ててください。  
水を捨てる際は必ず排水方向表示にしたがってください。  
※ファン部の送風口に水が入らないようにご注意ください。



- 週に一度はブラシなどで汚れを取って、濡れた布などで拭いてください。
- 水槽部には直接水を入れないでください。
- 洗剤は使用しないでください。故障の原因となります。
- 振動子の表面を金属ブラシや金属ヘラ、研磨剤入りのタワシや磨き粉などで絶対にこすらないでください。
- 赤サビが発生した場合は、重曹水をスプレー・ボトルに入れ、付着箇所に吹きかけ濡れた布でよく拭き取ってください（重曹水：ぬるま湯 250ml に対して重曹大さじ2杯をよく混ぜたもの）。
- フロート底面が汚れていると、フロートがこびりついて浮かなくなり、ミストが出なくなる場合がありますので、入念にお手入れしてください。

※お手入れの際は、ファン部送風口に水が入らないようご注意ください。  
内部に水が浸入し、故障の原因になります。

※ブラシのプラスチック部を力強く押し付けたりこすったりしないでください。超音波振動部の割れ、ゆがみが発生し、本体内部に水が侵入する恐れがあります。



水を入れたり、本体を振っても  
水位センサーが浮上しない状態。

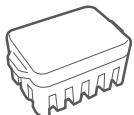
水を入れると浮上する状態。

記載内容に従ったお手入れの仕方、保管の仕方、お手入れ方法をおこなっていただけない場合はカビやレジオネラ菌などの発生により健康を害し、死亡例もありますので、必ず記載の手入れの仕方、保管の仕方、お手入れ方法をお守りいただきますようお願いいたします。

## お手入れの方法(2)

### 銀イオン抗菌カートリッジのお手入れ

銀イオン抗菌カートリッジを水槽から取りはずし、水洗いをした後、元通りに取付けてください。

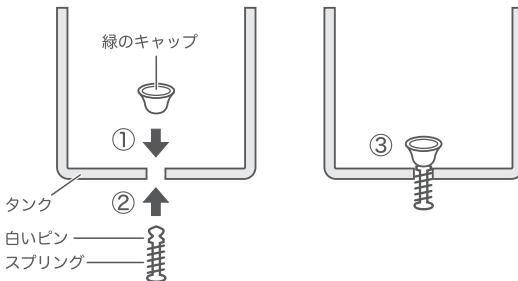


### 湿度表示について

本製品の湿度表示は目安となります。本製品を設置する場所の使用環境で室内の湿度計との誤差が生じる場合があります。頻繁に開閉する窓や扉の近くに設置する場合は実際の湿度の誤差が大きくなる場合があります。また空気の流れの良い場所と悪い場所でも誤差は大きくなる場合があります。

### タンク開閉弁が外れた場合の取付方法

- ①タンク内側から緑のキャップを入れる。
- ②タンク外側底面の穴からスプリングを入れた白いピンを挿入する。
- ③ピンの先端をキャップの穴に差し込み、ピンを上下させてスムーズに動けば完了です。



## 保管の仕方

- お手入れをして、よく乾燥させてから保管してください。汚れや水分が残ったまま長時間保管すると悪臭やカビが発生する原因となります。
- タンクと本体内部の水を排水して、陰干ししてよく乾燥させてください。また高温多湿の場所を避けて保管してください。

※汚れを除去し、しっかりと乾燥させてから保管する

## 仕様

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	95W( ヒーター機能 ON)
加湿量( 約 )	400ml/h
加湿時間	11 時間
外形寸法( 約 )	幅193×奥行き199×高さ337mm
質量( 約 )	1.8kg
タンク容量( 約 )	4.5L
コード長さ( 約 )	1.5M
付属品	抗菌カートリッジ、アロマパッド
生産国	中国
適用床面積目安	和室 7畳( 木造住宅 )、洋室 11畳( プレハブ住宅 )

## 故障かなと思ったら

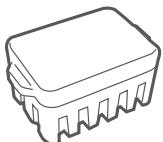
故障かなと思う前に、以下の現象がないか確認をお願いします。不具合の場合は使用を中止し、当社お客様相談室までご連絡ください。

こんな時は？	以下の現象を確認願います
電源を入れても動かない	電源プラグが抜けていませんか? →電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
スチームが出てこない	設定湿度が現在の湿度より低くなっていますか? →本製品は設定湿度以上になると自動的に動作を停止します。 振動子に汚れが付着していませんか? →汚れを除去してください。 フロートが水に沈んでいませんか? →フロート底面が汚れていると、フロートが引っ付いて浮いてこず、ミストが出なくなります。 フロート底面のお手入れをおこなってください。
異常な音がする	タンクは正しい位置にセットされていますか? →タンクを正しい位置にセットしてください。 タンクの水が少なくなっていますか? →水道水を補給してください。
タンクから水があふれる	直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで使用していませんか? →加湿器本体があたたまる環境では使用しないでください。 タンク内の気圧が上がり、水があふれる場合があります。
本体周辺や床が濡れる	加湿レベルが大きくなっていますか? →設定湿度が高い場合は加湿レベルを低めに設定してください。 また床や低い場所で使用すると、濡れやすくなります。
部屋の湿度計と加湿器の湿度表示が違う	本製品に搭載されている湿度センサーとお部屋の湿度計では、感知方式や構造( アナログ式 )の違いにより、相違が生まれることをご了承ください。

## 銀イオン抗菌カートリッジの交換について

- 銀イオン抗菌カートリッジの寿命目安は約6ヵ月です。  
交換時期が来たら、必ず新しいカートリッジに交換してください。

### 別売品



交換用銀イオン抗菌カートリッジ

**DH-AG121**

JAN:4949321580289

お求めは、お買上げの販売店または弊社にお申し込みください。

株式会社おおたけ ホームページ

<http://ohtake-since1978.jp/>



# 加湿器保証書

本書は、お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合に、下記内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

## <無料修理規定>

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常なご使用状態で保証期間中に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。  
(イ)無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に製品と本書をご持参いただき、お申しつけください。  
(ロ)お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、株式会社おおたけにご相談ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買い上げの販売店または株式会社おおたけにご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、株式会社おおたけへご連絡ください。
- 保証期間中でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。  
(イ)ご使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷  
(ロ)お買い上げ後の落下、移動、輸送などによる故障及び損傷  
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定以外の使用電源(電圧、周波数などによる故障及び損傷)  
(ニ)車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷  
(ホ)一般家庭以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷  
(ヘ)本書のご提示のない場合  
(ト)本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内において有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本書は、盗難、火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

## 修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者は(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または株式会社おおたけにお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

品 番	DH-HB453		
保 証 期 間	対 象 部 分	期間(お買上げ日より)	保 証 の 条 件
	本 体	1 年	持 込 修 理
お買上げ日	年 月 日		
お 客 様	お名前 ご住所 電 話		様
販 売 店	販売店名 ご住所 電 話		印

株式会社 おおたけ

おおたけコールセンター

TEL 024-983-5881

〒963-0112 福島県郡山市安積町成田字三渡7-1

受付 : 午前9時～午後0時・午後1時～午後5時 (土日曜日、祝祭日、年末年始、お盆を除きます。)